



# 感染と予防

for School

No. 17



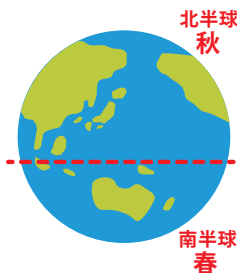
## 今年の冬の感染症対策について

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に翻弄され続けた2020年でしたが、年の瀬まで数か月となりました。間もなく訪れる冬は、インフルエンザをはじめとする発熱性呼吸器感染症の好発時季でもあります。今回は、来たるべき冬に備えるための感染症対策を考えます。



川崎医科大学 総合医療センター 小児科 部長(教授) 中野 貴司

### 南半球のインフルエンザ



赤道を挟んだ北半球と南半球で、四季は逆転します。すなわち南半球では現在、冬が終わって春を迎えました。しかし今シーズンは、**例年のような冬季のインフルエンザ流行が認められなかった**と世界保健機関（WHO）は報告しています。

世界保健機関（WHO）「Influenza updates」  
[https://www.who.int/influenza/surveillance\\_monitoring/updates/en/](https://www.who.int/influenza/surveillance_monitoring/updates/en/)

この理由について、COVID-19に対する**手指衛生や咳エチケット**などの対策が、インフルエンザの流行拡大防止に功を奏した可能性、**人の移動**が減りインフルエンザウイルスが伝播しなかった可能性などが考えられます。一方で、感染を恐れて患者の受診控えが起こったこと、保健医療機関がCOVID-19対応に忙殺され、流行状況を把握する**サーベイランス**がこれまでと同様のレベルで**機能しなかった可能性**も指摘されます。

### 日本におけるインフルエンザの流行状況



日本でも、昨シーズンすなわち2019年末から2020年にかけてのインフルエンザ流行は、近年で最も小規模なものでした。年明け早々には流行が終息し、累積推計受診者数は728.5万人で、**前年度の60%程度**でした。

厚生労働省「インフルエンザの発生状況について（2020年4月10日）」  
<https://www.mhlw.go.jp/content/000620714.pdf>

日本においても、COVID-19対策として励行された予防行動が、インフルエンザ流行を小規模に留めた可能性はありますが、年明け早々といえば、COVID-19の脅威が社会的に大きく取り上げられる以前です。すなわち、国内でCOVID-19対策が広く浸透するより前に、インフルエンザは終息しつつあったということになります。これに関して、**COVID-19の病原体であるSARS-CoV-2の出現が、生態系において、インフルエンザウイルスの流行に何らかの影響**をおよぼしたのではないかという研究者の意見もあります。

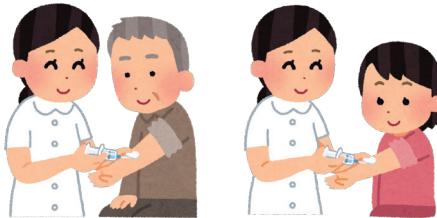
## 今年の冬の感染症対策は？



私たちはこれから、COVID-19と共存してゆかなければならないことが、昨今の流行状況からも明らかです。インフルエンザなど他の病原体がひとつでも消滅してくれば、私たちが脅かす敵が減りありがたいですが、楽観視はまったくできません。したがって、**各種感染症が流行する冬季においては、発熱や咳などの症状をきたす患者さんが増える**ことは間違いがないと考えられます。

では、どのようなことを心がけるのが大切でしょうか。感染症に対しては総合的な対策が必要ですが、誰にでもできる身近なことから始めましょう。

## 予防は感染症対策の基本です



発熱や咳などの症状がある場合、COVID-19なのか、インフルエンザなのか、その他の病気なのか、すぐには鑑別できません。各種検査診断法は進化しつつありますが、万能ではありません。発熱して、どんな病気なんだろうと不安にならないためにも、予防できる手段があれば、それを心がけるべきというのは多くの専門家の一致した意見です。

そのような観点から、今シーズンは**インフルエンザワクチン接種の希望者が増える**ことも予想されます。

①**定期接種対象者（65歳以上の高齢者など）**、②**医療従事者・持病のある者・妊婦・生後6か月から小学校低学年の小児**は、接種希望があれば、その機会をのがさないように呼びかける対象者に挙げられています。

厚生科学審議会 第46回感染症部会・第40回基本方針部会 合同開催(2020年9月10日) 資料1, 2  
[https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage\\_13511.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_13511.html)  
[https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000203023\\_00008.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000203023_00008.html)



密閉空間・密集場所・密接場面という「3つの密」を避けることは、COVID-19対策だけでなく、インフルエンザを含む他の感染症予防にも有効です。**手洗いや手指衛生、咳エチケットという基本的な予防行動ももちろん心がけて、この冬を乗り越えましょう！**

**手指消毒**  
**ウィル・ステラVH**  
各種ウイルス・細菌に対して効果的な速乾性アルコール！  
編集チームのおすすめ  
第64回工業技術賞受賞  
CREDITIS RPO-1106041

**手指消毒**  
**ヒビスコールSHL**  
日々の対策におすすめ！  
エタノール濃度55.0w/w%で消防法危険物適用外です。  
備蓄におすすめ！

**環境衛生**  
**サポステ**  
ドアノブ、手すりなどの環境・器具の除菌に。

ご質問・ご感想はこちらまでどうぞ ✉ [kansen-yobo@saraya.com](mailto:kansen-yobo@saraya.com) サラヤ感染と予防 🔍 [pro.saraya.com/kansen-yobo](https://pro.saraya.com/kansen-yobo)

**SARAYA**  
<http://pro.saraya.com/>

サラヤ株式会社  
東京サラヤ株式会社

東京サラヤ株式会社 公衆衛生部内「感染と予防」編集部  
〒140-0002 東京都品川区東品川1-25-8 TEL: 03-5461-8163  
Copyright© 2016 Saraya Co.,Ltd. All Rights Reserved. 本資料の無断転載を禁じます。